

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第 64 回 システム安全専門部会 議事録

1. 日 時：2023年8月8日（火）13：00～15：55

2. 会議方式：Web 会議＋原子力学会会議室

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員）岡本部長（14時から），鬼沢副部長，大谷幹事，杉野幹事，阿部，井村，河村，北島，木藤，木村，工藤，後藤，中川，中村，深野，松本，宮地，三山，室屋  
(19名)

（欠席委員）鈴木（1名）

（常時参加者）小澤（1名）

（説明者）【PLM 分科会】中川幹事，櫛崎常時参加者

【統合的安全性向上分科会】村上主査，倉本幹事

【水化学管理分科会】河村主査，平幹事，中野委員，宮重常時参加者

【長期運転体系検討タスク】村上主査，中川委員 (延べ10名)

（事務局）大沼，正岡，平野（3名）

4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員20名中，17名が出席しており，成立に必要な定足数（14名以上）を満足していることが報告された。その後，2名が途中参加し，19名の出席となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（STC64-1）

前回議事録（案）について，資料STC64-1のとおりにて承認された。

(2) 人事（STC64-2）

事務局から資料STC64-2に基づき，専門部会，分科会の人事について以下の提案があり，審議の結果，専門部会委員の再任，分科会委員の承認等が決議され，委員退任等が確認された。

【システム安全専門部会】

◆決議事項

(1) 委員再任

大谷 司	電源開発	2023.12～2025.11
------	------	-----------------

【分科会】

○PLM分科会

◆承認決議事項

(1) 委員選任

仙名 直樹	九州電力
-------	------

◇確認事項

(1) 委員退任

右田 拓郎	九州電力	2023.7.20
-------	------	-----------

(2) 常時参加者登録解除

中原 弘	九州電力	2023.7.20
------	------	-----------

牟田 健二	九州電力	2023.7.20
-------	------	-----------

(3)常時参加者登録承認

安部 将史 九州電力

○統合的安全性向上分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

外池 幸太郎 日本原子力研究開発機構  
廣川 直機 日立GEニュークリア・エナジー  
松島 英之 日本原子力発電

◇確認事項

(1)委員退任

中川 賢 日本原子力発電 2023.6.30  
曾根田 秀夫 日立GEニュークリア・エナジー 2023.7.31

(2)常時参加者登録解除

福田 和樹 日本原子力発電 2023.06.16  
飯野 宏基 北陸電力 2023.07.01  
伊藤 耕史 北陸電力 2023.07.01  
田門 健治 関西電力 2023.07.03

(3)常時参加者登録承認

浦野 渡瑠 日本原子力発電  
坂口 英之 北陸電力  
高嶋 啓介 北陸電力  
東山 陽 北陸電力  
堀内 保 関西電力

○水化学管理分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

平 純一 東京電力ホールディングス  
吉林 貴良 中部電力

◇確認事項

(1)委員退任

宮澤 晃 東京電力ホールディングス 2023.06.30  
伊藤 元邦 中部電力 2023.06.30

(2)幹事退任

宮澤 晃 東京電力ホールディングス 2023.06.30

(3)幹事指名

平 純一 東京電力ホールディングス

○炉心燃料分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録解除

大田 悠平 経済産業省資源エネルギー庁 2023.07.19  
立松 研二 経済産業省資源エネルギー庁 2023.07.19

(2)常時参加者登録承認

瀧桐 基皓 経済産業省資源エネルギー庁  
岩月 仁 経済産業省資源エネルギー庁

○シビアアクシデントマネジメント分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

白石 夏樹                      テプコシステムズ

◇確認事項

(1)委員退任

渡邊 学                      テプコシステムズ                      2023.06.14

○BWR熱流動評価分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録解除

古城 宏規                      中部電力                      2023.07.11

(3)【報告】 (STC64-3)

長期運転体系検討タスク（フェーズ2）の検討状況

（担当：長期運転体系検討タスク 村上主査，中川委員）

長期運転体系検討タスク 村上主査，中川委員から STC64-3 に基づき，タスクの検討状況の説明があった。現状挙がってきた課題として，運転期間延長のための特別点検の必要性の再整理が必要であること，PLM の耐震評価等過剰に評価を実施している項目があること，EQ について規制がどのように確認するかスキームがないことなどがあることが説明された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：今後のスケジュールは？

A：今年度内に技術レポートの原案の作成を完了するよう加速する。

C：秋の大会において企画セッションを実施する。（9月6日）委員各位にも是非参加いただきたい。

(4)【報告】 (STC64-4)

分科会活動状況について

（担当：各分科会代表者等の関係者）

各分科会代表者等の関係者から資料に基づき，各分科会の活動状況について報告があった。特に質疑，コメント等は無かった。

(5)【報告】 (STC64-5)

5年ごとのアンケートに関する対応について

（担当：杉野幹事）

杉野幹事から STC64-5 に基づき，5年ごとのアンケートに関する対応について説明があり，この内容をシステム安全専門部会の対象選定結果として回答することに特に異論が無いことを確認した。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：15件程度に絞り込まなくて良いか。

A：全部で24件あり，幅広く意見を求めたいので，特に絞り込まないこととした。

Q：現在審議中の標準も含めているか。

A：PLM（追補4），PSR<sup>+</sup>も含めている。

(6)【報告・審議】 (STC64-6-1～STC64-6-4)

“原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補4）”標準原案に関する決議投票の結果及び受け付けた意見への対応について

（担当：事務局，PLM分科会 中川幹事，榎崎常時参加者）

事務局から資料に基づき，題記に関する決議投票の結果，可決されたことが報告された。引き続き PLM 分科会 榎崎常時参加者から，提出された意見への対応，編集上の修正，及び発見さ

れた誤記対応について説明があった。審議の結果、この内容にて次回の標準委員会に本報告すること、また、経年劣化メカニズムまとめ表において見つかった誤記への対応について、正誤表の発行不要として追補4で修正することを標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：誤記修正に関し正誤表を発行しないこととしているが、前例はあるか。

A：標準語記載対応ガイドラインに記載されている、誤記分類の基準に基づき正誤表不要と判断したもので、従来も同様である。

#### (7)【報告・審議】(STC64-7-1～STC64-7-4)

“原子力発電所の安全性の向上のための定期的な評価に関する実施基準：202X”改定原案に関する決議投票の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，統合的安全性向上分科会 村上主査，倉本幹事)

事務局から資料に基づき、題記に関する決議投票の結果、可決されたことが報告された。引き続き、統合的安全性向上分科会 村上主査，倉本幹事から、提出された意見への対応について説明があった。審議の結果、オブソレッセンスに関する専門部会での議論を解説に追記した上で、次回の標準委員会に本報告することが決議された。追記の内容については標準委員会の前に分科会から専門部会委員へ連絡する。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：Obsolescence については、「旧式化（オブソレッセンス）」と全箇所に記載することとしてはどうか。

A：対象箇所が多いのでカッコ書きが多くなりすぎる。JISの「旧式化」の概念の方が狭いことはあるが、JISにおいてもObsolescenceは「旧式化」としており、これを変えることは難しいと思う。また、解説3において、議論になった点として記載を加えている。

Q：この標準におけるObsolescenceは、まわりが進んでいくことに伴う「旧式化」だけではなく、システムそのものが劣化していくことも概念の中に含まれるのではないかと。設計に限定した定義のみではよくないのではないかと。

A：今回標準の定義においても、設計に限ってはならず、マネジメントを対象としており、旧式化には様々な側面があるとしている。

Q：まわりが進んで相対的に自分が陳腐化したことによるのがObsolescenceであり、自分自身が劣化することはObsolescenceには含まないということか。

A：御指摘の点はパフォーマンス劣化であり、Obsolescenceという観点ではなく、各安全因子のレビューにおいて発見されるものである。

Q：ハードウェアのパフォーマンス劣化は入らないが、マネジメントのパフォーマンス劣化は対象となるのではないかと。

A：QMSとの仕分けの問題もあると思うが、本標準の定義でObsolescenceに含まれるものと含まれないものは明確にしている。QMSの劣化はQMSの安全因子のレビューの中で見つかる。この標準では、従来と同じ品質であってもまわりが進むことによる相対的な劣化をObsolescenceとしている。

C：本日の議論は重要なものであり、解説に追記してほしい。

A：承知した。

#### (8)【報告・審議】(STC64-8-1～STC64-8-7)

PWR/BWR水化学管理指針およびBWR水化学分析標準の改定趣意書について

(担当：水化学管理分科会 河村主査，平幹事，中野委員，宮重常時参加者)

水化学管理分科会 河村主査，平幹事，中野委員，宮重常時参加者から資料に基づき、PWR/BWR水化学管理指針およびBWR水化学分析標準の改定趣意について説明があり、本日のコメントを反映のうえ、標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：制定から5年との記載があるが、制定か発刊か混乱が見られる。再整理が必要。

A：拝承。

Q：国際会議での発表は趣意書レベルか。

A：趣意書の内容に加えて技術内容も入れている。

Q：今後のスケジュールについて、最終が「発刊」となっているが、標準委員会での審議を踏まえた「改定」とすること。

A：拝承。

(9) 【報告】 (STC64-9-1～STC64-9-2)

倫理教育について

(担当：大谷幹事)

大谷幹事、並びに岡本部会長から資料に基づき、専門部会委員の意見について説明があり、その後、意見交換を行った。

6 その他

(1) 今後の予定

- ・次回は、2023年11月14日（火）9：00からの開催に決定した。
- ・次々回は、2024年2月8日（木）13：00からの開催を予定。

【配付資料】

STC64-0	第64回システム安全専門部会議事次第
STC64-1	第63回システム安全専門部会議事録（案）
STC64-2	人事について（案）
STC64-3	長期運転体系検討タスク中間報告
STC64-4	分科会の活動状況について（2023年7月25日時点）
STC64-5	様式-3「学会員へのアンケート調査の対象選定」の提案様式
STC64-6-1	“原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補4）”標準改定原案に関する決議投票【STC23-01】の結果について
STC64-6-2	原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補4）標準委員会報告案
STC64-6-3	“原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補4）”案の専門部会意見対応案
STC64-6-4	原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補4）標準原案（完本）
STC64-7-1	“原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する実施基準：202X”標準改定原案に関する決議投票【STC23-02】の結果について
STC64-7-2	PSR+標準改定に関するシステム安全専門部会 書面投票にていただいたコメントへの対応
STC64-7-3	原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する実施基準：202X（案） [システム安全専門部会書面投票コメント反映版]
STC64-7-4	“原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する実施基準：202X”標準改定に関する本報告について（案）
STC64-8-1	日本原子力学会標準“沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - よう素 131：2018”の改定について
STC64-8-2	日本原子力学会標準“沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - コバルト 60 イオン：2018”の改定について
STC64-8-3	日本原子力学会標準“沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - 金属不純物：2018”の改定について
STC64-8-4	日本原子力学会標準“沸騰水型原子炉の水化学管理指針：2019”の改定について
STC64-8-5	日本原子力学会標準“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：2019”の改定について
STC64-8-6	PWR / BWR 水化学管理指針改定に係る趣意書 記載事項整理表

- STC64-8-7 PWR および BWR 水化学管理指針の改定動向に関する国際会議発表について  
STC64-9-1 第 64 回システム安全専門部会 (8/8) 倫理教育受講状況フォロー表 (2023/8/4 時点)  
STC64-9-2 第 64 回システム安全専門部会 倫理教育に係る委員の主な意見

参考資料

- STC64-参考 1 システム安全専門部会委員名簿  
STC64-参考 2 システム安全専門部会出席実績

以 上